

花崎 太一（はなさき たいち）



職種	理学療法士
役職	技師長
資格	運動器認定理学療法士 管理認定理学療法士 アメリカ心臓協会 BLS インストラクター 介護予防推進リーダー / 地域包括推進リーダー ボバース基礎講習会・上級講習会修了 認知運動療法基礎講習会修了 運動器臨床解剖学講座(全 11 回)修了
コメント	何事にも"more better"（より良く）の精神で取り組み、患者様の回復の援助をしていきたいと思います。安心して効果のある治療を受けて頂けるようにチームで精進します。
興味分野	整形外科疾患、脳血管疾患、地域包括ケア、介護予防
略歴	2004 年理学療法士免許を取得後、行岡病院を経て 2012 年大阪回生病院入職。 現在まで、理学療法士・作業療法士の養成校 延べ 5 校の講義を担当。 主な講義は、『股関節疾患における評価・治療』『体表解剖』『地域包括ケア病棟における取り組みと課題』である。また淀川区内を中心に、介護予防教室（いきいき百歳体操を効果的に行うための point、コグニサイズ、歌・ダンス体操）、地域ケア会議（自立支援マネジメント会議）に携わっている。 2015 年（公社）大阪府理学療法士会 大阪市北ブロックブロック長。2019 年 4 月より淀川区理学療法士会 会長。

[詳細は 9 ページをご参照いただくかこちらをクリックしてください。](#)

森下 健（もりした けん）



職種	理学療法士
役職	副技師長
資格	脳卒中 認定理学療法士 運動器 認定理学療法士 健康増進・参加 認定理学療法士 3学会合同呼吸療法認定士 地域包括推進リーダー アメリカ心臓協会 一次救命措置ヘルスケアプロバイダー がんのリハビリテーション研修修了 ボバース基礎講習会・上級講習会修了 IPNFA 基礎講習会（Level 1,2）修了
コメント	患者様の訴えを傾聴し、患者様が少しでも笑顔になれるようにリハビリを行っていきたいと考えています。
興味分野	脳血管疾患、内部障害、予防医学
略歴	2010 年理学療法士免許を取得後、大阪回生病院入職。現在まで、理学療法士・作業療法士の養成校 延べ 4 校の講義を担当し、現在 1 校の教壇に立つ。主な講義は、『脳血管疾患の評価と治療』・『姿勢動作分析』・『ポジショニング』・『循環器疾患の評価と治療』・『臨床運動学』を担当。

詳細は 11 ページをご参照いただくかこちらをクリックしてください。

是澤 克彦（これさわ かつひこ）



職種	理学療法士
役職	副技師長
資格	呼吸 認定理学療法士 3 学会合同呼吸療法認定士 呼吸ケア・リハビリテーション学会 呼吸ケア指導士 日本循環器学会 心不全療養指導士 日本腎臓リハビリテーション学会 腎臓リハビリテーション指導士 アメリカ心臓協会 BLS インストラクター アメリカ救命救急医学会 Fundamental Critical Care Support course 修了 がんのリハビリテーション 研修修了 日本理学療法士協会 上級指定管理者 地域包括ケア推進リーダー 介護予防推進リーダー フレイル対策推進マネジャー 大阪府理学療法士会生涯学習センター 認定臨床教育者
コメント	患者様の希望を 1 つでも多く叶えられるよう、患者様と共感し合える治療を提供する事を心掛けます。
興味分野	呼吸器疾患、循環器疾患、腎疾患、肩関節疾患、足関節疾患
略歴	2010 年 理学療法士免許を取得後、大阪回生病院に入職 2014 年 3 学会合同呼吸療法認定士 取得 2017 年 呼吸認定理学療法士 取得 2018 年 呼吸ケア・リハビリテーション学会 呼吸ケア指導士 取得 2023 年 日本循環器学会 心不全療養指導士 取得 2024 年 日本腎臓リハビリテーション学会 腎臓リハビリテーション指導士 取得 【社会活動】 2014 年～2019 年 9 月まで （公社）大阪府理学療法士会 社会局 2019 年 4 月～ 淀川区理学療法士会 副会長 2020 年 4 月～2022 年 4 月・2024 年 4 月～ 大阪府理学療法士会 代議員 2025 年 8 月～ 大阪府理学療法士会生涯学習センター 情報管理局 ニュース編集部 部長

詳細は 13 ページをご参照いただくかこちらをクリックしてください。



職種	理学療法士
役職	副技師長
資格	スポーツ 認定理学療法士 運動器 認定理学療法士 健康増進・参加 認定理学療法士 JPSA 公認 パラスポーツトレーナー JPSA 公認 パラスポーツコーチ JPSA 公認 パラスポーツ指導員（中級） 栄養サポートチーム（NST）専門療法士 アメリカ心臓協会 BLS インストラクター 全米ストレングス・コンディショニング協会公認 NSCA Certified Personal Trainer（NSCA-CPT） Adidas Functional Training Trainer
コメント	自分に妥協せず、周りに淘汰されず、まっすぐに前を向いて努力していきます。 よろしくお願い致します。
興味分野	スポーツ疾患、整形外科疾患、切断・義足
略歴	《院内》 2012 年理学療法士免許を取得後、大阪回生病院入職。2014 年より院内の栄養サポートチーム（NST）、褥瘡対策チーム 所属。2016 年より糖尿病ケアチーム 所属し、チーム医療に多く携わっている。現在は整形外科疾患、外来リハビリテーションを中心に勤務。 《院外》 2018 年より大阪府理学療法士会の公益事業部で活動。様々なスポーツ・パラスポーツの大会スタッフとして、社会活動を実施。2023 年より副部長を務める。 また 2017 年より日本障害者スキー連盟スノーボードナショナルチームに所属。2018 年（平昌・韓国）、2022 年（北京・中国）のパラリンピックにて、日本選手団トレーナーとして帯同。東京 2020 オリンピック大会でも大会メディカルスタッフとして勤務。 教育・講師としては、理学療法士等の養成校 延べ 11 校の講義を担当し、現在 5 校の教壇に立つ。主な講義は、『治療学（スポーツ疾患、運動器疾患）』、『義肢装具学』、『パラスポーツ総論・各論』。

詳細は 20 ページをご参照いただくかこちらをクリックしてください。

田渕 成臣（たぶち なるおみ）



職種	作業療法士
役職	係長
資格	介護支援専門員 住環境福祉コーディネーター 2 級 介護予防推進リーダー 地域包括ケア推進リーダー アメリカ心臓協会 一次救命措置ヘルスケアプロバイダー
コメント	患者様がしたい生活ができるようリハビリを行っていきます。そのためにも日々の努力を怠らず、知識や技術の習得に研鑽していきます。
興味分野	介護予防、認知症予防
略歴	《院内》 2013 年作業療法士免許を取得後、大阪回生病院入職。 2020 年より院内の褥瘡対策チーム 所属。 2024 年よりリスク管理委員会 所属。 《院外》 2019 年 4 月～2024 年 3 月 大阪府作業療法士会大阪市北ブロック 長。 2020 年 11 月～2023 年 11 月 大阪府作業療法士会 代議員 2024 年 6 月～大阪府作業療法士会 理事

[詳細は 19 ページをご参照いただくかこちらをクリックしてください。](#)

船橋 彩奈（ふなはし あやな）



職種	言語聴覚士
役職	係長
資格	LSVT LOUD®認定セラピスト アメリカ心臓協会 一次救命措置ヘルスケアプロバイダー 健康咀嚼指導士 がんのリハビリテーション 研修修了
コメント	患者様の「その人らしさ」を大切に、リハビリテーションを提供できるよう日々努力していきます。
興味分野	高次脳機能、構音障害、姿勢と嚥下・発声機能の繋がり
略歴	2011 年 言語聴覚士免許を取得。 2011 年 4 月～八尾はあとふる病院 2015 年 4 月～社会福祉法人 聖隷福祉事業団 浜松市リハビリテーション病院 2018 年 4 月～大阪回生病院入職。 2018 年より院内の栄養サポートチーム（NST）所属。
講師活動 （地域）	●2025 年 介護予防いきいきわくわく推進協議会主催 介護予防体操
講師活動 （学生）	●2024 年 履正社国際医療スポーツ専門学校・理学療法学科『NST・嚥下』『吸引』 ●2023 年 履正社国際医療スポーツ専門学校・理学療法学科『NST・嚥下』『吸引』 ●2022 年 履正社医療スポーツ専門学校・理学療法学科『NST・嚥下』 ●2021 年 履正社医療スポーツ専門学校・理学療法学科『NST・嚥下』
社会活動	●2025 年～ 一般社団法人 大阪府言語聴覚士会 学術部部員

塩見 太一郎（しおみ たいちろう）



職種	理学療法士
役職	係長
資格	脳卒中 認定理学療法士 代謝 認定理学療法士 LSVT BIG® 認定セラピスト アメリカ心臓協会公認 BLS インストラクター ボバース基礎講習会・上級講習会修了
コメント	患者様の気持ちに寄り添い、安心してリハビリを受けられるように日々研鑽していきます。
興味分野	脳血管疾患、神経変性疾患、内部疾患
略歴簡略版	2014 年理学療法士免許を取得後、大阪回生病院入職。
執筆論文 図書・学会	●2025 年 5 月 24 日第 66 回日本神経学会学術大会『パーキンソン病患者に対する LSVT® の効果と複数回介入の結果』共同演者：岩根弘人、山納幸代、西端彩奈、田端宏充 ●2016 年 11 月 27 日第 55 回近畿理学療法士学術大会『脳挫傷が既往にある全盲患者の社会復帰に向けて～体性感覚入力と探索活動～』共同演者：春本千保子、森憲一 ●2015 年 7 月 20 日、第 27 回 大阪府理学療法学術大会発表、『左足関節脱臼骨折後のしゃがみ動作と歩行動作獲得に向けて～作業特性と体型を考慮した治療展開～』、共同演者：西尾嘉津政、春本千保子、森憲一
講師活動 (現職者)	●2022 年～25 年、(公社)大阪府理学療法士会主催 脳卒中認定理学療法士 認定カリキュラム)『早期離床と合併症予防の為に急性期理学療法』、『脳画像評価の実際』 ●2021～25 年、(公社)大阪府理学療法士会主催 理学療法士講習会（応用編）『脳血管疾患に対する理学療法の理論と実際』
講師活動 (学生)	●2024～25 年、履正社国際医療スポーツ専門学校 理学療法学科『理学療法総合治療学実習Ⅰ：脳血管疾患、糖尿病、』 ●2024 年 森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 理学療法科 『臨床理学療法治療学実習』 ●2021～23 年、履正社国際医療スポーツ専門学校 理学療法学科『理学療法総合治療学実習Ⅰ：脳血管疾患、糖尿病、地域包括ケア』 ●2020 年～25 年、履正社医療スポーツ専門学校 理学療法学科 『臨床運動学』 ●2019 年 履正社国際医療スポーツ専門学校 理学療法学科『健康学概論：糖尿病』 ●2019 年、大阪医療福祉専門学校 作業療法学科『総合実習』姿勢動作分析、ポジショニング
社会活動	●2017 年～2018 年 (公社)大阪府理学療法士会 生涯学習部部員 ●2018 年～2019 年 (一社)大阪府理学療法士会生涯学習センター 研修部 部員

本田 丈歩 (ほんだ たけふみ)



職種	理学療法士
役職	主任
資格	アメリカ心臓協会公認 BLS インストラクター 3 学会合同呼吸療法認定士 呼吸 認定理学療法士 がんのリハビリテーション 研修修了
コメント	患者様の日々の幸せの為にできることを精一杯取り組んでいきます。
興味分野	呼吸器疾患、がん疾患、循環器疾患
略歴簡略版	2016 年理学療法士免許を取得後、大阪回生病院入職。 2019 年 3 学会合同呼吸療法認定士を取得し、当院 RST に所属。 2022 年 3 月 がんのリハビリテーション研修会に参加。
執筆論文 図書・学会	●2017 年 7 月 2 日 第 29 回大阪府理学療法学術大会発表『上下肢骨折患者の活動・参加促進の試み～歩行と趣味活動に着目して～』、共同演者：岡野 真伍,宮崎 喬平,花崎 太一,森 憲一 ●2018 年 1 月 20 日 第 58 回近畿理学療法学術大会発表『関節リウマチ患者に対する人工膝関節全置換術後の歩行と家事動作獲得への試み』、共同演者：東山 学史,森 憲一 ●2022 年 1 月 16 日 第 61 回近畿理学療法学術大会発表『Post-acute COVID-19 syndrome に対する理学療法の効果』、共同演者：是澤 克彦,伊藤 文香,花崎 太一,中井 直治 【講師活動：学校】 ●2023 年～現在 履正社国際医療スポーツ専門学校 理学療法学科 『理学療法総合治療学実習Ⅰ：呼吸器疾患』

酒井 宏介（さかい こうすけ）



職種	理学療法士
役職	主任
資格	運動器 認定療法士 アメリカ心臓協会 BLS インストラクター 全米ストレングス・コンディショニング協会公認 NSCA Certified Personal Trainer Adidas Functional Training Trainer
コメント	患者様の事を第一に考え、誠意を持ってリハビリテーションを提供できるよう日々研鑽していきます。よろしくお願いします。
興味分野	運動器疾患、スポーツ疾患、スポーツリハビリテーション
略歴簡略版	2016 年 理学療法士免許を取得後、大阪回生病院入職 2023 年 日本 Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会 准会員 2024 年 日本膝関節学会 准会員 2024 年 日本臨床スポーツ医学会 准会員 2025 年 ジュニアユースサッカー JOGAMAIS トレーナー
執筆論文 図書・学会	●2017 年 7 月 2 日 第 29 回大阪府理学療法学術大会 『多発性骨折を受傷した症例～COPM、SF36 を用いた治療展開～』 共同演者：巖田将人,山岡明広,渡邊祥文,東山学史,石田文香,森憲一 ●2018 年 1 月 20 日 第 58 回近畿理学療法学術大会 『大腿骨頸部骨折患者の掃除動作～COPM により戦略を立案し QOL 改善を得た一症例～』 共同演者：北中孝治,森下健,森 憲一 ●2022 年 1 月 16 日 第 61 回近畿理学療法学術大会 『脛骨骨幹部骨折を呈した症例～歩行とカーフレイズ共通要素に着目して～』 共同演者：東山学史,花崎太一 ●2024 年 4 月 19-20 日 第 3 回 日本 Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会 学術集会 『膝周囲骨切り術が足関節機能に及ぼす影響について』 口述発表 共同演者：岩根弘人、 東山学史、花崎太一、国宗翔、天井健太、井石智也、中山寛 ●2024 年 12 月 6-7 日 第 2 回 日本膝関節学会 『膝周囲骨切り術の矯正開大幅による足関節底屈筋力への影響』 口述発表 共同演者： 岩根弘人、東山学史、河合暁、天井健太、井石智也、中山寛 ●2025 年 1 月 25～26 日 第 11 回日本スポーツ理学療法学会学術大会 『足関節骨折術後患者の走行動作～足関節底屈筋力と走行動作の工夫～』 ポスター発表 共同演者：東山学史、花崎太一、国宗翔、加藤寛 ●2025 年 4 月 11-12 日 第 4 回 日本 Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会学 術集会 『膝周囲骨切り術後患者における running 解析の取り組み』 口述発表 共同演者：岩根

	弘人、東山学史、河合暁、天井健太、井石智也、中山寛 ●2025 年 11 月 29-30 日 第 12 回 日本日本スポーツ理学療法学会・学術大会 『膝周囲骨切り術後患者における Jogging 解析の取り組み』 口述発表 共同演者：岩根弘人、東山学史、河合暁、天井健太、井石智也、中山寛 【講師活動：学校】 ●2021 年～現在 履正社医療スポーツ専門学校 理学療法学科『理学療法総合治療学実習 I：足部・足関節疾患の評価』 ●2025 年 ACL リハビリテーション研究会 講師 『当院における ACL 再建術後のリハプロトコルと筋力回復について～レクレーションスポーツ復帰に向けた試み～』
--	---



職種	理学療法士
役職	主任
資格	運動器 認定理学療法士 脳卒中 認定理学療法士 アメリカ心臓協会公認 BLS インストラクター ボバース基礎講習会・上級講習会修了 がんのリハビリテーション 研修修了
コメント	患者様と互いに共感できる治療を目指し、日々妥協せず向上心をもって頑張ります。よろしくをお願いします。
興味分野	脳血管疾患、運動器疾患、がん疾患
略歴簡略版	2016 年理学療法士免許を取得後、大阪回生病院入職。 ※平成 27 年度養成校学術優秀賞受賞。 2022 年 3 月 がんのリハビリテーション研修会に参加。 2024 年 9 月、2025 年 3 月に第 1 回大阪府災害医療研修に参加。
執筆論文 図書・学会	【学会発表】 ●2024 年 7 月 26 日 第 14 回日本ボバース研究会学術大会『広範囲脳梗塞を呈した急性期患者に対する姿勢コントロール獲得への試み～MBCP を用いた評価と治療～』共同演者：森下健,花崎太一 ●2018 年 1 月 20 日 第 58 回近畿理学療法学術大会発表『既往歴にうつ病を有する、小脳梗塞患者に対する理学療法の試み～小脳症状の改善と運動学習に着目して～』共同演者：吉本幸恵,森下健,森 憲一 ●2017 年 11 月 12 日 第 57 回近畿理学療法学術大会『頸髄症性脊椎症を呈し、車椅子方向転換動作改善を目指した一症例～推進相から離脱相に着目して～』、共同演者：塩見太一郎、渡邊祥文、佐伯訓明、森憲一 ●2017 年 7 月 2 日 第 29 回大阪府理学療法学術大会発表『脳幹再梗塞後、移乗動作改善を目指した一症例～早期 ADL における麻痺側参加の試み～』、共同演者：柴大樹、西河和也、森憲一 【講師活動：学校】 ●2024 年～森ノ宮医療大学 理学療法学科 『臨床理学療法治療学実習』 ●2021 年～現在 履正社医療スポーツ専門学校 理学療法学科 『臨床運動学』 ●2021 年～現在 履正社医療スポーツ専門学校 理学療法学科『理学療法総合治療学実習 I：脳血管疾患の評価』 【講師活動：現職者】 ●2022 年～現在、脳卒中認定理学療法士臨床認定カリキュラム（教育機関：履正社国際医療スポーツ専門学校）：テーマ『機能回復と日常生活活動自立に向けた回復期理学療法』 ●2023 年～現在（公社）大阪府理学療法士会主催 理学療法士講習会（応用編）『脳血管

	疾患に対する理学療法の理論と実際』
--	-------------------

【社会活動】

●2023 年～現在（一社）大阪府理学療法士会生涯学習センター 研修部 部員（研修集会事業）

執筆論文・ 書籍関係	●2025年9月 月刊雑誌 New Life 高齢化社会のリハビリと歩行練習をサポートする使いやすい機器 ●2020年9月 月刊雑誌 New Life 高齢化社会のリハビリと歩行練習をサポートする使いやすい機器 ●大阪府理学療法士会誌 VOL. 43 【内容】会員報告 地域包括ケア病棟における理学療法士としての取り組みと今後の課題 P40～44
学会	●2008年 第5回肩の運動機能研究会、肩前方屈曲困難な上腕骨骨幹部骨折術後の運動療法経験 ●2009年 日本リハビリテーション学会、回復期リハビリテーション患者の転倒を繰り返さないために、第1報（共同演者）
講師活動 (現職者)	●2025年(各月) 三国ゆう整形外科勉強会 より良い運動療法・徒手療法のための機能解剖・体表解剖 ●2021年～2023年 東和病院 院内研修(各月)『触察・徒手療法』 ●2021年9月26日(日)(一社)大阪府理学療法士会生涯学習センター主催第2回新人教育プログラム研修会「B-1 一次救命処置と基本処置」 ●2020年2月8日 医療法人 一祐会 リハビリテーション部門研修会 『股関節疾患における評価・治療』 ●2018年2月7日、15日 介護予防推進リーダー対象説明会「いきいき百歳体操の実際(実技指導)」 ●2017年、2018年、2019年(公社)大阪府理学療法士会主催 理学療法士講習会(応用編)『運動器疾患に対する理学療法の理論と実際』 ●2016年10月28日 (公社)大阪府理学療法士会 大阪市北ブロック主催研修会『股関節疾患における評価と治療』 ●2016年3月 医療法人 一祐会 藤本病院 全職種対象院内研修会 『地域包括ケア病棟開設における取り組みと課題』 ●2015年6月24日、大阪府保険医協会、メディカルスタッフ症例検討会、『地域包括ケア病棟における理学療法士としての取り組みと今後の課題』 ●2015年 LD4 講習会 『股関節疾患における評価と治療』
講師活動 (地域)	●2025年11月 西淀川区区役所健康づくり講座 ●2024年7月 淀川区東部地域包括支援センター主催 介護予防体操 ●2023年1月 淀川区東部地域包括支援センター 歌って体操 DVD 作成・監修 ●2022年10月15日 淀川区健康づくり広げる講座 ●2021年10月29日 淀川区フレイル予防講座 ●2021年10月11日 淀川区健康づくり広げる講座 ●2019年1月10日 淀川区地域包括支援センター主催『介護予防体操～コグニサイズを中

	心に～』 ●2019 年 1 月 29 日 淀川区地域包括支援センター主催『介護予防体操』 ●2018 年 12 月 14 日 淀川区老人クラブ連合会、淀川区役所主催『歩いて元気を保つための体操』 ●2018 年 12 月 6 日 淀川区いきいき百歳体操 5 周年特別企画 淀川区役所保健福祉課主催『いきいき百歳体操サポーター交流会』 ●2018 年 11 月 26 日 大阪市家族介護介護予防支援事業 西部地域包括支援センター主催『介護予防体操～コグニサイズを中心に～』 ●2018 年 9 月 29 日 淀川区東部地域包括支援センター主催 いきいき百歳体操導入研修『いきいき百歳体操をより効果的に行うために』 ●2018 年 9 月 25 日、10 月 22 日、10 月 23 日、10 月 30 日、11 月 6 日 淀川区内計 5 か所 淀川区東部地域包括支援センター主催『介護予防体操～コグニサイズ～』 ●2018 年 7 月 12 日 東淀川区役所健康福祉課主催いきいき百歳体操サポーター教室『いきいき百歳体操をより効果的に行うための point』 ●2018 年 6 月 7 日 淀川区西部地域包括支援センター主催『介護予防体操～歌って踊って認知症を予防しよう～②』 ●2018 年 5 月 28 日 淀川区西部地域包括支援センター主催『介護予防体操～歌って踊って認知症を予防しよう～①』 ●2018 年 1 月 30 日 淀川区地域包括支援センター主催『介護予防体操』 ●2017 年 11 月 28 日 淀川区西部地域包括支援センター主催『介護予防体操②』 ●2017 年 11 月 27 日 淀川区西部地域包括支援センター主催『介護予防体操』
講師活動 (学生)	●2024 年～ 履正社国際医療スポーツ専門学校 理学療法学『体表解剖学』 ●2021 年 履正社国際医療スポーツ専門学校 理学療法学科 理学療法総合治療学実習Ⅰ：『運動器疾患』『地域包括ケア病棟・退院支援』 ●2016 年 大阪医療福祉専門学校 作業療法学科 総合実習『ポジショニング、筋緊張』 ●2015 年 京都医健専門学校 作業療法学科 作業療法研究法Ⅰ『頭部外傷』『神経難病』 ●2015 年 平成リハビリテーション専門学校『動作分析』 ●2014 年 平成リハビリテーション専門学校 運動療法学『中枢神経系』 ●2011 年 行岡リハビリテーション専門学校 理学療法学総合演習『Case Study (脳血管疾患)』 ●2010 年より 2011 年まで 行岡リハビリテーション専門学校 理学療法学Ⅴ『脊髄損傷』 ●2009 年より 2010 年まで 行岡リハビリテーション専門学校 理学療法学Ⅴ『関節リウマチ』『腰部・頸部疾患』

社会活動	●2013 年 （公社）大阪府理学療法士会 生涯学習部 部員（兼大阪市北ブロック学術部員） ●2013 年 （公社）大阪府理学療法士会 大阪市北ブロック副ブロック長 ●2015 年 （公社）大阪府理学療法士会 大阪市北ブロックブロック長 ●2019 年 （公社）大阪府理学療法士会 座長（卒業研究） ●2019 年 4 月～ 淀川区理学療法士会 会長 ●2018 年～2022 年 4 月 （公社）大阪府理学療法士会 代議員 ●2021 年 第 8 回日本予防理学療法学会 準備委員 ●2022 年 第 20 回日本神経理学療法学会 準備委員 ●2024 年 4 月～現在 （公社）大阪府理学療法士会 代議員
-------------	--

[もとのページに戻る](#)

執筆論文 図書・学会	●2018 年 12 月 1 日第 8 回日本がんリハビリテーション研究会 『回腸新膀胱造設患者に対する理学療法の試み～術後の後遺症を予測し、治療が奏功した一症例～』 共同演者：春本千保子、森憲一 ●2015 年 11 月 22 日第 55 回 近畿理学療法学術大会 『発症 6 ヶ月が経過した脳血管疾患に対する職業復帰の試み～COPM により職業特性を聴取し、QOL 改善を目指した一症例～』 共同演者：森憲一
講師活動 (現職者)	●2025 年、脳卒中認定理学療法士臨床認定カリキュラム（教育機関：履正社国際医療スポーツ専門学校）：テーマ『理学療法介入の意義と理学療法士の役割』、『疾患によって生じる障害とその評価および予後予測』、『自立支援や疾病管理の補助具・機器とその活用』、『疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編 2）（リスク管理の実践）』 ●2024 年、脳卒中認定理学療法士臨床認定カリキュラム（教育機関：履正社国際医療スポーツ専門学校）：テーマ『理学療法介入の意義と理学療法士の役割』、『疾患によって生じる障害とその評価および予後予測』、『自立支援や疾病管理の補助具・機器とその活用』、『疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編 2）（リスク管理の実践）』 ●2023 年、脳卒中認定理学療法士臨床認定カリキュラム（教育機関：履正社国際医療スポーツ専門学校）：テーマ『理学療法介入の意義と理学療法士の役割』、『疾患によって生じる障害とその評価および予後予測』、『自立支援や疾病管理の補助具・機器とその活用』、『疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編 2）（リスク管理の実践）』 ●2022 年、脳卒中認定理学療法士臨床認定カリキュラム（教育機関：履正社国際医療スポーツ専門学校）：テーマ『理学療法介入の意義と理学療法士の役割』、『疾患によって生じる障害とその評価および予後予測』、『自立支援や疾病管理の補助具・機器とその活用』、『疾病・障害特異的理学療法の実践（技術編 2）（リスク管理の実践）』 ●2023 年、脳卒中認定理学療法士臨床認定カリキュラム（教育機関：大阪府理学療法士会生涯学習センター）：テーマ『終末期における理学療法』、『社会資源の活用』 ●2025 年、(公社)大阪府理学療法士会主催 理学療法士講習会（応用編）『脳血管疾患に対する理学療法の理論と実践～床上動作～』 ●2024 年、(公社)大阪府理学療法士会主催 理学療法士講習会（応用編）『脳血管疾患に対する理学療法の理論と実践～床上動作～』 ●2023 年、(公社)大阪府理学療法士会主催 理学療法士講習会（応用編）『脳血管疾患に対する理学療法の理論と実践～床上動作～』 ●2022 年、(公社)大阪府理学療法士会主催 理学療法士講習会（応用編）『脳血管疾患に対する理学療法の理論と実践～床上動作～』 ●2021 年、(公社)大阪府理学療法士会主催 理学療法士講習会（応用編）『脳血管疾患に対する理学療法の理論と実践』 ●2020 年、(公社)大阪府理学療法士会主催 理学療法士講習会（応用編）『脳血管疾患に対する理学療法の理論と実践』 ●2019 年、(公社)大阪府理学療法士会主催 理学療法士講習会（応用編）『脳血管疾患に対する理学療法の理論と実践』 ●2018 年、(公社)大阪府理学療法士会主催 理学療法士講習会（応用編）『運動器疾患に対

	する理学療法理論と実際』 ●2017 年、(公社)大阪府理学療法士会主催 理学療法士講習会 (応用編)『運動器疾患に対する理学療法理論と実際』 ●2016 年 LD4 講習会 『床上動作』
講師活動 (学生)	●2024 年 森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 理学療法科 『臨床理学療法治療学実習』 ●2021 年～現在 履正社医療スポーツ専門学校 理学療法学科『理学療法総合治療学実習Ⅰ： 脳血管疾患の評価』 ●2018 年～現在 履正社医療スポーツ専門学校 理学療法学科 『臨床運動学』 ●2017 年 大阪医療福祉専門学校 作業療法学科『総合実習』姿勢動作分析、ポジショニング ●2016 年 大阪医療福祉専門学校 作業療法学科『総合実習』更衣動作治療 ●2015 年 近畿リハビリテーション学院『リハビリテーション特論』(脳卒中の評価と治療、循環器疾患の評価と治療)』
社会活動	●2013 年～2016 年 (公社)大阪府理学療法士会 大阪市北ブロックブロック員 ●2013 年～2017 年 (公社)大阪府理学療法士会 生涯学習部部員 ●2018 年～2021 年 (一社)大阪府理学療法士会生涯学習センター 研修部 部員 ●2022 年～2023 (一社)大阪府理学療法士会生涯学習センター 研修部 副部長

[もとのページに戻る](#)

執筆論文
図書・学会

- 2025 年 10 月 24 日 第 35 回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会
『重度パーキンソン病患者に対する高流量鼻カニューラ酸素療法を併用した理学療法の一症例』 是澤克彦
- 2025 年 9 月 27 日 保健医療学学会 第 15 回学術集会
『頭部前方姿勢における下顎骨移動に関する超音波画像解析の試み』
是澤克彦、中川佳久、宮脇正法、田中大勇士、藤原秀晃、中尾駿介、羽崎完
- 2025 年 9 月 5 日 第 32 回 排尿機能学会
『骨盤姿勢の違いが骨盤底筋トレーニングに及ぼす影響』
田中大勇士、中川佳久、是澤克彦、宮脇正法、羽崎完
- 2025 年 6 月 28 日 第 70 回 日本透析医学会学術集会
『血液透析時に運動療法を実施した患者の身体機能の推移』
是澤克彦、塩見太一朗、山納幸代、石川晃太郎、立溝舞衣、荒賀美咲、篠田夏穂
高橋郁美、本田丈歩、寺澤茂子（当院 看護部）、加藤結衣（当院 ME センター）
平田篤志（当院 ME センター）、川島遼太郎（当院 泌尿器科）、阪本慧一（市立奈良病院 泌尿器科）、田中雅博（当院 泌尿器科）
- 2024 年 11 月 16 日 第 34 回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会
『過敏性肺炎に HFrEF が併存した症例の理学療法経過』 是澤克彦
- 2024 年 10 月 19 日 第 10 回日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会
『骨盤底筋筋力と端座位側方リーチの関係』
中川佳久、田中大勇士、是澤克彦、宮脇正法、石井聡也、羽崎完
『Pelvic Floor Muscle Trainer を用いた骨盤底筋機能の評価～骨盤底筋挙上量との関係～』
田中大勇士、中川佳久、是澤克彦、宮脇正法、石井聡也、羽崎完
- 2024 年 6 月 8 日 第 69 回 日本透析医学会学術集会
『末期腎不全患者に対する維持血液透析を施行中の運動療法の効果』
是澤克彦、花崎太一、山納幸代、篠田夏穂、平田健太、高橋郁美、本田丈歩、塩見太一朗
寺澤茂子（当院 看護部）、平田篤志（当院 ME センター）、阪本慧一（当院 泌尿器科）、
初鹿野俊輔（大和高田市立病院 泌尿器科）、田中雅博（当院 泌尿器科）
- 2024 年 3 月 16 日 第 14 回 日本腎臓リハビリテーション学会学術集会
『維持血液透析を施行中に運動療法を試みた末期腎不全患者の 2 例』
是澤克彦、花崎太一、土居幸代、篠田夏穂、平田健太、高橋郁美、本田丈歩、塩見太一朗
寺澤茂子（当院 看護部）、平田篤志（当院 ME センター）、田中雅博（当院 泌尿器科）
- 2022 年 11 月 12 日 第 32 回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会
『誤嚥性肺炎で嚥下障害を呈した虚弱高齢者の理学療法の一症例』 是澤克彦
- 2021 年 11 月 13 日 第 31 回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会
『COVID-19 による ARDS 患者に対する理学療法の経験』 是澤克彦
- 2021 年 9 月 26 日 第 7 回 日本呼吸理学療法学会学術大会
『上葉優位型肺線維症に対する理学療法の効果』
是澤克彦、伊藤文香、花崎太一、中井直治（当院 呼吸器内科）
- 2018 年 11 月 9 日 第 28 回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会
『ARDS 後 ICU-AW を呈した患者に対するリハビリテーションの試み』
是澤克彦、石田文香
- 2017 年 12 月 16 日 第 90 回 日本呼吸器学会近畿地方会
『特発性上葉優位型肺線維症に対する理学療法により健康関連 QOL が向上した一症例』
是澤克彦、中井直治（当院 呼吸器内科）
- 2017 年 11 月 17 日 第 27 回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会

	『特発性上葉優位型肺線維症の健康関連 QOL 向上に対するリハビリテーションの効果』 是澤克彦、石田文香 ●2017 年 7 月 2 日 第 29 回 大阪府理学療法学術大会 『特発性上葉優位型肺線維症の理学療法 ～重度拘束性換気障害を呈した一症例～』 是澤克彦、石田文香、森憲一、中井直治（当院 呼吸器内科） ●2017 年 7 月 2 日 第 29 回 大阪府理学療法学術大会 『大阪府理学療法士会誌に関するアンケート 府士会誌の配信方法について』 渡邊希望、中西信敬、池野和輝、西尾嘉津政、是澤克彦、佐藤麻美、辻岡大輔、山野宏章、 鹿山英明、羽田晋也 ●2016 年 10 月 21～22 日 第 43 回 日本肩関節学会 第 13 回肩の運動機能研究会 『肩関節人工骨頭置換術症例の胸郭運動に着目した理学療法の試み』 是澤克彦、西河和也、原田宏隆、森憲一 ●2016 年 10 月 10～11 日 第 26 回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 『急性間質性肺炎が疑われた急性呼吸窮迫症候群に対する理学療法の経験』 是澤克彦、石田文香 ●2009 年 1 月 15 日 第 30 回 バイオメカニズム学術講演会 『筋電計測用衣服の製作』 是澤克彦、小嶋大樹、小西有人、吉田正樹（大阪電気通信大学 医療福祉工学部 理学療法学科 教授）
講師活動 (現職者)	●2025 年 (一社) 大阪府理学療法士会生涯学習センター 研修会 淀川区理学療法士会 研修会 『内部疾患の評価と運動療法～心臓・呼吸・腎臓リハ～』 関西メディカル病院 リハビリテーションセミナー 『呼吸の評価とリハビリテーションの実際』 ●2025 年 (2024 年度事業) (一社) 大阪府理学療法士会生涯学習センター 研修会 淀川区理学療法士会 研修会 『内部疾患の評価と運動療法～心臓・呼吸・腎臓リハ～』 ● 2021 年～2023 年 東和病院 院内研修 『呼吸リハビリテーション』『上腕骨近位部骨折のリハビリテーション』 『循環器疾患のリハビリテーション』 ●2021 年～ 東和病院 『BLS ヘルスケアプロパイダコース』 コースリーダー ●2017～2021 年 (公社) 大阪府理学療法士会主催 理学療法士講習会 (応用編) 『摂食・嚥下障害に対する理学療法の理論と実際』
講師活動 (学生)	●2025 年 履正社国際医療スポーツ専門学校 理学療法学科 『理学療法治療学特講Ⅱ：呼吸器疾患』 『理学療法治療学特講Ⅱ：循環器疾患』 ●2024 年 履正社国際医療スポーツ専門学校 理学療法学科 『理学療法治療学特講Ⅱ：呼吸器疾患』 『理学療法治療学特講Ⅱ：循環器疾患』 ●2023 年 履正社国際医療スポーツ専門学校 理学療法学科 『理学療法治療学特講Ⅱ：呼吸器疾患』

	大阪電気通信大学 健康医療科学部 理学療法学科 『学内実習（訪問リハビリテーション）』 ●2022 年 履正社医療スポーツ専門学校 理学療法学科 『理学療法総合治療学実習Ⅰ：呼吸器疾患』 大阪電気通信大学 健康医療科学部 理学療法学科 『学内実習（訪問リハビリテーション）』 ●2021 年 履正社医療スポーツ専門学校 理学療法学科 『臨床運動学』 『理学療法総合治療学実習Ⅰ：呼吸器疾患』 大阪電気通信大学 健康医療科学部 理学療法学科 『学内実習（訪問リハビリテーション）』 『学内実習（評価実習：大腿骨人工骨頭置換術）』 大阪医療福祉専門学校 理学療法学科 『学内実習（評価実習：人工膝関節全置換術）』 ●2020 年 大阪医療福祉専門学校 理学療法学科 『学内実習 呼吸サポートチーム Respiratory Support Team』 近畿リハビリテーション学院 理学療法学科 『理学療法評価学演習Ⅰ（循環器疾患）』 ●2018 年～ 大阪電気通信大学 医療福祉工学部 理学療法学科 （現：健康情報学部 健康情報学科 理学療法学専攻） 講義補助員 ●2017 年～2020 年 履正社医療スポーツ専門学校 理学療法学科 『健康学概論』 ●2016 年 近畿リハビリテーション学院 理学療法学科 『リハビリテーション特論』（呼吸器疾患・循環器疾患）
所属学会	●2010 年～ （公社）日本理学療法士協会 ●2013 年～ （一社）日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 ●2022 年～ （一社）日本腎臓リハビリテーション学会 ●2022 年～ （一社）日本心臓リハビリテーション学会 ●2023 年～ （一社）日本循環器学会
社会活動	●2013 年～2019 年 9 月 （公社）大阪府理学療法士会 社会局 ●2019 年 （公社）大阪府理学療法士会 大阪市北ブロック新人症例発表会 座長 ●2019 年 4 月～ 淀川区理学療法士会 副会長 ●2020 年～2022 年 4 月 （公社）大阪府理学療法士会 代議員 ●2021 年 理学療法ガイドライン 第 2 版 『脊髄損傷』 システムティックレビュー班 委員 ●2024 年 2 月 日本筋骨格系徒手理学療法学術大会 準備委員 ●2025 年 （公社）大阪府理学療法士会 第 37 回大阪府理学療法学術大会 座長 ●2025 年 8 月～ 大阪府理学療法士会生涯学習センター 情報管理局 ニュース編集部 部長

[もとのページに戻る](#)

執筆論文
学会発表

- 2025 年 4 月 11 日、12 日
第 4 回 日本 Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会学術集会 (北海道)
『膝周囲骨切り術後半年でジョギング獲得した症例の身体的特徴』 ポスター発表
共同演者：岩根 PT、酒井 PT、河合 Dr、天井 Dr、井石 Dr. (兵庫医大)、
中山 Dr (兵庫医大) .
- 2025 年 1 月 12 日、13 日 第 11 回日本スポーツ理学療法学術大会 (神奈川)
『パラスノーボード日本代表選手の海外遠征時におけるコンディショニング調査報告』
ポスター発表 共同演者：国宗 PT (森之宮医療大学)
- 2024 年 12 月 12 日、13 日 第 2 回日本膝関節学会 (沖縄)
『膝周囲骨切り術後患者における 40cm 片脚起立獲得症例の特徴』 口述発表
共同演者：岩根 PT、酒井 PT、河合 Dr、天井 Dr、井石 Dr. (兵庫医大)、
中山 Dr (兵庫医大) .
- 2024 年 10 月 12 日、13 日 日本スポーツ整形外科学会 2024 (東京)
『Open Wedge Distal Tuberosity Osteotomy の鷲足温存症例における術後疼痛
および筋力調査』 口述発表
共同演者：岩根 PT、酒井 PT、河合 Dr、天井 Dr、井石 Dr. (兵庫医大)、
中山 Dr (兵庫医大) .
- 2024 年 7 月 28 日 第 36 回大阪府理学療法学術大会
『運動器セクション 口述』 座長
- 2024 年 4 月 19 日、20 日
第 3 回 日本 Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会学術集会 (香川)
『Training management for early return to sports』 シンポジスト
共同演者：岩根 PT、酒井 PT、花崎 PT、天井 Dr、井石 Dr. (兵庫医大)、
中山 Dr (兵庫医大) .
- 2023 年 11 月 25 日 第 11 回 関西 Knee Osteotomy 研究会 (大阪)
『膝周囲骨切り術後、3 カ月での片脚起立獲得症例の特徴』 口述発表
共同演者：岩根 PT、花崎 PT、天井 Dr、井石 Dr、中山 Dr.
- 2023 年 7 月 2 日 第 35 回大阪府理学療法学術大会
『運動器セクション 口述』 座長
- 2022 年 11 月 12 日、13 日 第 33 回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (北海道)
『2022 北京パラリンピック冬季競技大会でのメディカルサポート報告』 口述発表
- 2022 年 7 月 3 日 第 34 回大阪府理学療法学術大会
『運動器セクション 口述』 座長
- 2019 年 7 月 20 日、21 日 第 31 回大阪府理学療法学術大会
『運動器セクション 口述』 座長
- 2018 年 11 月 3 日、4 日 第 7 回日本理学療法教育学会学術大会 (兵庫)
『臨床実習指定規則改定に伴う実習指導方法変更の経験』 ポスター発表
- 2017 年 10 月 19 日、20 日、21 日
リハビリテーション・ケア合同研究大会 久留米 2017 (福岡)
『訪問リハビリにて介護度の軽減、QOL 向上が得られた一症例
～外出訓練の写真撮影による次年度カレンダー作成の試み～』 口述発表

	●2016年7月16日、17日 第23回日本義肢装具士協会学術大会発表（兵庫） 『外傷性下腿切断の社会復帰に向けた試み』 口述発表 ●2016年5月27日、28日、29日 第51回 日本理学療法学術大会発表（北海道） 『若年下腿切断患者の早期部活復帰を目指して ～活動・参加への介入により QOL 向上に繋がった一症例～』 ポスター発表 ●2015年11月15日 第18回大阪病院学会 『当院 NST における活動報告 理学・作業療法士の役割』 口述発表 ●2015年6月5日、6日、7日 第50回日本理学療法学術大会（東京） 『腰部骨盤帯のリアライメントと可動性の改善に より神経症状が改善した腰部脊柱管の一症例』 ポスター発表 ●2013年6月30日 第25回大阪府理学療法学術大会 『下腿切断者における身体図式の再構築』 口述発表 2013～2024 現在：学会発表：13回、座長：4回、シンポジスト：1回
執筆論文 図書	●2024年 Medical Rehabilitation (月刊 メディカルリハビリテーション) No.300 『膝スポーツ障害・外傷のリハビリテーション診療 実践マニュアル』 ：膝周囲骨切り術におけるスポーツ復帰を目指したリハビリテーション診療 全日本病院出版会 共同執筆 ●2021年 『イラストでわかる装具療法』 医歯薬出版 共同執筆 ●2020年 『実践編・ケースで学ぶ理学療法臨床思考』 文光堂 共同執筆 ●大阪府理学療法士会 広報紙 『まあよんみて』 共同執筆 2025年 車いすテニス、中級パラスポーツ指導員の活動報告 2024年 当部でのフィジオサポートについて 2023年 北京 2022 パラリンピック大会の帯同報告 2022年 東京 2020 オリンピックの活動報告 2021年 コンディショニングサポートから見えてきたこと ～各パラスポーツによる傾向～ 2020年 パラスポーツのライセンス 2019年 大阪マラソン、車いすテニス体験会の活動報告
講師活動 (現職者・学生)	2025年： ●AHA-BLS 講習会 東和病院 講師 『BLS ヘルスケアプロバイダーコース』 ●東京整形外科ひざ・こかんせつクリニック主催 第3回 STRiDE セミナー 講師 ～早期変形性膝関節症の保存療法に対するリハビリテーション～ ：『膝周囲骨切り術後 ～スポーツのリハビリテーション～』 共同講師：中山寛先生（兵庫医大）、久先生（東京整形外科ひざ・こかんせつクリニック） 2024年： ●日本 Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会主催 AKO 連携会 講師 『膝周囲骨切り術後の Return to jogging について』 ●日本パラスポーツ協会、大阪府理学療法士協会主催講習会 講師 障がい者スポーツ指導員 中級講習会； 『理学療法士とパラスポーツ』、『トレーニングの基礎理論』

- 大阪府理学療法士会 主催 理学療法士講習会 応用編 講師

『パラリンピックにおけるメディカルサポート』

- 日本理学療法士会 臨床認定カリキュラム（スポーツ） 講師

筑波大附属病院 水戸地域医療教育センター

JA 茨城県厚生連総合病院 水戸共同病院（後援：茨城県理学療法士会）

『パラスポーツ 総論』 ・ 『パラスポーツ 障害別各論』

『疾病・障害特異性理学療法の実際（パラスポーツの実際）』

- 日本理学療法士会 臨床認定カリキュラム（スポーツ） 講師

履正社国際医療スポーツ専門学

後援：大阪府理学療法士会

『スポーツ外傷・障害の発生、再発予防のための理学療法』

『パラスポーツ 障害別各論』

『アンチ・ドーピング』

『疾病・障害特異性理学療法の実際（救急対応の実際）』

- 大阪府理学療法士会生涯学習センター主催講習会 講師

『運動器疾患に対する理学療法の理論と実際』

- AHA-BLS 講習会 東和病院 講師

『BLS ヘルスケアプロバイダーコース』

2023 年：

- 日本理学療法士会 臨床認定カリキュラム（スポーツ） 講師

筑波大附属病院 水戸地域医療教育センター

JA 茨城県厚生連総合病院 水戸共同病院（後援：茨城県理学療法士会）

『パラスポーツ 総論』 ・ 『パラスポーツ 障害別各論』

『疾病・障害特異性理学療法の実際（パラスポーツの実際）』

- 日本理学療法士会 臨床認定カリキュラム（スポーツ） 講師

履正社国際医療スポーツ専門学

後援：大阪府理学療法士会

『スポーツ外傷・障害の発生、再発予防のための理学療法』

『パラスポーツ 障害別各論』

『アンチ・ドーピング』

『疾病・障害特異性理学療法の実際（救急対応の実際）』

- 大阪府理学療法士会生涯学習センター主催講習会 講師

『運動器疾患に対する理学療法の理論と実際』

- 大阪府理学療法士会生涯学習センター主催講習会 講師

『パラスポーツ現場で求められる PT の役割と備えるべき技能』

～パラスポーツを支える PT になるために～

- AHA-BLS 講習会 東和病院 講師

『BLS ヘルスケアプロバイダーコース』

2022 年：

- 日本理学療法士会 臨床認定カリキュラム（スポーツ） 講師

履正社国際医療スポーツ専門学

後援：大阪府理学療法士会

『スポーツ外傷・障害の発生、再発予防のための理学療法』

『パラスポーツ 障害別各論』

『アンチ・ドーピング』

- 日本パラスポーツ協会、大阪府理学療法士協会主催講習会 講師
障がい者スポーツ指導員 中級講習会 ；

『理学療法士とパラスポーツ』、『筋力トレーニング』

- 大阪府理学療法士会 主催 理学療法士講習会 応用編 講師
『パラリンピックにおけるメディカルサポート』

- AHA-BLS 講習会 東和病院 講師
『BLS ヘルスケアプロバイダーコース』

2021 年：

- 大阪府理学療法士会 主催 理学療法士講習会 応用編 講師
『障がい者スポーツに対する理学療法の実際』

- 大阪医療福祉専門学校 理学療法士学科 OB 会 講師
『東京 2020 オリンピックの活動報告』

- 淀川区理学療法士会の講習会 座長
『パラリンピック水泳競技における理学療法士の関わり』
『ジュニアスポーツにおける理学療法』

2020 年：

- 大阪府理学療法士会 主催 理学療法士講習会 応用編 講師
『障がい者スポーツに対する理学療法の実際』

2019 年：

- 森ノ宮医療大学 理学療法学科主催研修会 アシスタント講師
『情動・報酬系へのアプローチを考慮した基本動作の評価・治療』
- 理学療法士講習会 阪奈中央リハビリテーション専門学校 OB 会 アシスタント講師
『腰部・骨盤・股関節に対する徒手の理学療法の理論と実際』

- 大阪府理学療法士会 主催

第 1 回 生涯学習研修集会 & 第 31 回大阪府理学療法学会大会 アシスタント講師
『情動・報酬系へのアプローチ』

- 大阪府理学療法士会 主催 理学療法士講習会 応用編 講師
『パラスポーツ及びスポーツにおける理学療法の実際』

- 大阪医療福祉専門学校 臨床実習指導者会議 講師
『診療参加型実習の実践報告』

2018 年：

- 大阪府理学療法士会大阪市北ブロック主催研修会 講師
『パラスポーツへの取り組み ～平昌パラリンピックを経験して～』

- 大阪府理学療法士会 主催 理学療法士講習会 応用編 講師
『パラスポーツにおける理学療法の理論と実際』

- 大阪人間科学大学 オープンキャンパス特別講師
『パラリンピックにおけるメディカルサポート』

2017 年：

- 大阪府理学療法士会 主催 理学療法士講習会 アシスタント講師
『腰椎疾患および腰痛予防の運動療法』

講師活動 (非常勤講師)	● 沖縄総合医療学院 理学療法士学科 特別講義講師 2024 年 『特別講義 パラスポーツに関わる理学療法士』 ● 履正社国際医療スポーツ専門学校 理学療法学科 講師 2024 年～現在 『運動器治療学』 2021 年～現在 『理学療法総合治療学実習Ⅰ：スポーツ・パラスポーツ、リハビリ栄養』 『OSCE』 ● 大阪医療福祉専門学校 理学療法士学科 講師 2017 年～現在 『義肢装具学』、『治療学 総論』、『臨床実習（学内実習） 症例検討』 ● 辻栄養学園専門学校 講師 2021 年～2023 年 『運動生理学』 ● 平成医療学園専門学校 講師 2021 年～現在 『パラスポーツ講習会』 ● 阪奈中央リハビリテーション専門学校 特別講習会講師 2018 年～現在 『キャリア教育』 毎月 1 回
トレーナー 活動	【スポーツ】 ● 2021 年 東京 2020 オリンピック大会（バレーボール、ビーチバレー） ● 2022 年～ 硬式野球部（甲南大学） ● 2022 年～2023 年 バスケットボール部（甲南大学） ● 2022 年 日本クラブユースサッカー大会 U-18(大阪) ● 2018 年～現在 ビーチバレー全日本女子選手権大会 【パラスポーツ】 ● 2017 年～現在 パラスノーボード ・パラリンピック帯同 2 大会(平昌 2018、北京 2022) ・世界選手権帯同 3 大会（フィンランド 2019、スペイン 2023、カナダ 2025） ・ワールドカップ帯同 7 大会（ニュージーランド 2016、カナダ 2018, 2024, ノルウェー2020、イタリア 2023、オーストリア 2025） ・南半球選手権大会帯同 1 大会（ニュージーランド 2016） ・北米選手権帯同 1 大会（アメリカ 2019） ・全国障がい者スノーボード選手権大会&サポーターズカップ 5 大会 ● 全国障がい者スポーツ大会 大阪府代表トレーナー ● 大阪マラソン（車いすマラソン） 大会フィジオブース ● 車いすテニス（大阪オープン） 大会フィジオブース ● アンプティーサッカー（レオピン杯 Copa Amputee） 大会フィジオブース ● パラ陸上（関東パラ陸上競技大会、全スポ大阪府予選） 大会フィジオブース ● パラ水泳（全スポ大阪府予選） 大会フィジオブース ● パラアーチェリー（全スポ大阪府予選） 大会フィジオブース
所属学会	● 日本理学療法士協会 : 2012 年～現在 ● 日本臨床スポーツ医学会 准会員 : 2022 年～現在 ● 日本スポーツ整形外科学会 准会員 : 2024 年～現在 ● 日本 Knee Osteotomy and Joint Preservation 研究会 准会員 ● 日本パラスポーツ協会 : 2017 年～現在 ● 日本パラスポーツトレーナー学会 : 2024 年～現在

	● アメリカ心臓協会 : 2018 年～現在 ● NSCA ジャパン : 2020 年～現在 ● 日本栄養治療学会 (JSPEN) : 2017 年～現在
社会活動	● 2018 年～現在 ※2023 年～ 副部長 大阪府理学療法士会 職能局公益事業部 ● 2017 年～現在 日本障害者スキー連盟スノーボード(ナショナルチーム) 強化スタッフ アンチ・ドーピング委員 医科学委員

[もとのページに戻る](#)

学術紹介 田淵 成臣 (たぶち なるおみ)

執筆論文 図書・学会	●2017 年 10 月 1 日、第 37 回 近畿作業療法士学会発表、『訪問リハビリにより機能向上と発言の変化がみられた一症例～本人目標の合意形成と家族・他職種との取り組み～』、共同演者：山元昭彦、森憲一 ●2023 年 11 月 9 日、第 58 回 日本作業療法士学会発表、『小脳性運動失調患者に対する ADL 向上へのアプローチ』、共同演者：是澤克彦、森下健、花崎太一 ●2024 年 11 月 8 日、第 59 回 日本作業療法士学会発表、『意思決定を尊重した介入により認知機能が改善し運動機能・認知機能の維持に繋がった一症例』、共同演者：花崎太一
講師活動 (学生)	●2017 年 京都医健専門学校 作業療法科『作業療法研究法Ⅰ』 ●2018 年～現在 大阪医療福祉専門学校 作業療法学科 『作業療法総合実習』 ●履正社国際医療スポーツ専門学校 理学療法学科 講師 2021 年～現在 『理学療法総合治療学実習Ⅰ；運動器疾患肩関節 退院支援 作業療法』
講師活動 (地域)	●2018 年 11 月 26 日 大阪市家族介護介護予防支援事業 西部地域包括支援センター 主催 『介護予防体操～コグニサイズを中心に～』 ●2022 年～現在 大阪市淀川区オレンジチーム主催 『認知症予防体操』

[もとのページに戻る](#)